

<研究テーマ>

平成 24 年度の研究テーマは下記となっております。

研究テーマ名	研究概要	事業名
戸田市における住宅セーフティネットについて	<p>現在、戸田市は「若さと活気あふれるまち」であるが、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、近い将来、戸田市は急速な高齢社会を迎えると推計されている。そして、この高齢化の影響の一つとして、高齢単身者や要介護認定者が増加する可能性があり、住宅確保要配慮者の増加が懸念されている。そのため、平成 23 年度は高齢者を中心とした各分野の制度を整理・分析しながら課題整理を行った。</p> <p>今年度は、抽出された課題の対応策について研究を進めていく。また、研究にあたっては平成 23 年度同様 P T を設置するとともに、目白大学社会学部地域社会学科との一部共同研究とする。</p>	政策研究 (2 年目)
戸田市におけるシティセールス活動の方向性について	<p>戸田市では、平成 20、21 年度「戸田市のシティセールスの必要性と成功する要件について」調査研究を実施した。その研究成果をもとに平成 22 年度に策定作業を進め、平成 23 年度に「戸田市シティセールス戦略」を策定した。この戦略では、戸田市が目指す都市イメージを「首都に隣接 オアシス都市、憩う、育む、楽しむまち」とし、実現に向け行政としての取り組みを「アクションプラン」として設定し活動を開始している。</p> <p>しかし、シティセールスの推進にあたっては、行政だけでなく、市民や関係団体などの地域を担う様々な主体や企業などと連携しながら進めることで、より高い成果が期待できる。また、行政が持たないチャンネルを活用したプロモーション等を積極的に実施することが求められると考えられる。</p> <p>そこで、法政大学大学院政策創造研究科が蓄積している、地域活性化やシティプロモーションの事例や、多くの地域おこしへ関与してきたノウハウ等の豊富な資源を活用しながら、「戸田市シティセールス戦略」の第 2 ステップとして、今後の展開の方向性を共同研究により明らかにするものである。</p>	政策研究 (1 年目)
市内交通の低炭素化に向けた E V 普及についての研究	<p>戸田市では、「戸田市地球温暖化対策条例」の理念の下、市民・事業者と気持ちを一つにして地球環境への負荷を減らすために平成 23 年 3 月に「地球温暖化対策実行計画」を策定している。本計画では、平成 32 年度までに、一人当たりの温室効果ガス排出量を平成 20 年度比 25% 削減することを目標とし、低炭素型社会の構築に率先して取り組むこととしている。電気自動車の普及施策は県内自治体としても先進的な取り組みである。実行計画では市内交通の低炭素化として位置づけられ、庁用電気自動車の導入、電気自動車用充電設備設置補助制度の創設などを進めているところである。また、戸田市は環境問題への取り組みを重要施策として位置づけており、サステナブル都市ランキング全国 10 位という高い評価も得ているところである。これらのことから環境問題に積極的に取り組む市のイメージを強化し、環境先進市のイメージを市外にアピールする観点からも有効な施策であると考えられる。なお、市では 24 年度より文化会館に電気自動車の充電設備を設</p>	政策支援

置し、EV普及に向けた取り組みを開始している。本研究では、EVバイク、小型EV、シニアカーなどを活用した本市におけるEV交通普及の全体像を描くとともに、現在民間で導入が開始されている自動販売機を利用したEV・PHV給電システムの導入など、具体策についても検証を行いながら進める。研究体制としては、環境クリーン課と政策秘書室で研究プロジェクトチームを設定し、双方より研究員を選出し研究にあたるもので、8月までの短期で結論を出し、事業化が可能であれば25年度からの取り組み開始を目指すこととする。	
--	--

※政策企画：施策化・事業化を前提とした研究事業です。原則として1年間で結論を導出します。

※政策研究：必ずしも施策化・事業化を前提としない研究事業です。数年間かけて結論を導出します。

※政策支援：調査研究機能としての事業ではなく、政策支援機能としての事業とし、担当部署が決定している事業の導入にあたり、担当部署との共同により調査研究を実施するものになります。